

特集

- 1 相鉄・東急直通線工事 地下って今どうなっているの？
- 2 防犯カメラの設置で安全・安心なまちづくり
- 3 子どもに関することで困ったら

「広報よこはま港北区版」が
スマホやタブレット端末で読みやすくなりました



マチイロ



マイ広報紙

こほうく

区版 No.249

相鉄・東急 直通線工事 地下って今どうなっているの？

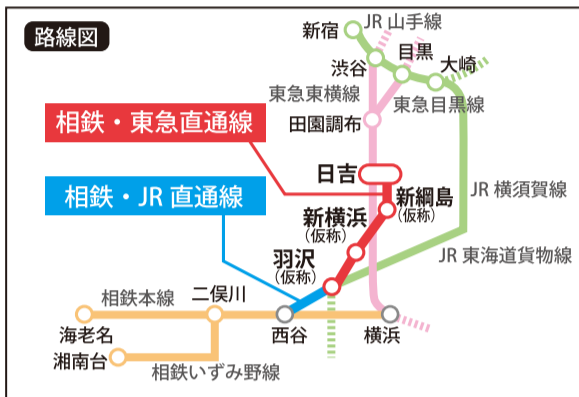
2022年度下期開業を目標に、相鉄線と東急線の相互直通運転(ST線)を行うため、羽沢駅(仮称)～日吉駅間で工事が進められています。これにより、相鉄線・東急線から新横浜駅へのアクセスが便利になります。相鉄・JR直通線も併せて工事が進められており、市内を横断する新しい鉄道ネットワークが形成され、市内の移動が便利になります。

なかなか見ることのできない、地下空間であるST線工事現場を紹介します(2018年4月～5月にかけて取材)。

●問合せ 区役所企画調整係 ☎540-2229 ☎540-2209

各工事現場は、360°写真で見ることができます。

港北 広報 検索 または二次元コードから



日吉駅

東急電鉄(株)
やまみち
山道さん



日吉駅付近では、ST線を日吉駅につなげる工事を進めています。東急線が走る線路(高架橋)の位置を切り替えたり(写真①)、既存の東急線高架橋を鉄骨で支え、柱の下部を切断して真下にトンネルを造ったり(写真②)と、難しい工事に取り組んでいます。工事区間内には、高架橋側面にレーザー式センサーを数多く設置(写真②)し、線路のゆがみを0.1ミリメートル単位で測定することで、電車の走行や乗り心地に支障がないように確認しています。

新綱島駅

(仮称)

鉄道・運輸機構
なおえ
直江さん



新綱島駅(仮称)工区では掘削工事が完了し、地下4階に駅舎を造り始めました。さらに、日吉駅方向と新横浜駅(仮称)方向に掘削していくトンネル工区では、準備工事をしています(写真③)。工区周辺には住宅が多いため、音が外に漏れにくくするための防音ハウスを建てるなど、騒音対策を行っています。粘土層を主体とした軟弱地盤で難しい工事となりますが、周辺環境や安全に配慮して工事を進めています。

新横浜駅

(仮称)

鉄道・運輸機構
かねこ
金子さん



新横浜駅(仮称)周辺工事では、環状2号線の真下で駅舎建設を進めています(写真④)。交通量が多いため、幹線道路としての機能を維持して工事を進める必要があります。掘削範囲を少なくするために、本来仮設で造る壁を、地下駅舎本体に利用できる鋼製地中連続壁にしています(写真⑤)。さらに、地中にある水道管や電気ケーブルなどを別の場所に動かすなど難しい作業を進めています。現在、路面覆工板(地下の大空間を覆うふた)の下は地下4階までの大空間となっています(写真⑥)。覆工板上を大量の車が通行するため、毎日点検をして安全確認をしています。



奥にトンネルの形が見える



東急線の線路を外側に切り替えた後、元の高架橋を撤去している様子



切断した柱



路面覆工板



鋼製地中連続壁を造るのに使われた、日本に4台しかない特殊な重機(CSM機)



地下4階に新横浜駅(仮称)のホームができるところ

工事に関する問合せ

日吉駅工区について 東急電鉄(株) 東急お客さまセンター ☎03-3477-0109

新綱島駅(仮称)、新横浜駅(仮称)工区について 鉄道・運輸機構東京支社広報担当 ☎03-5403-8780

工事の進捗状況は、ホームページにも掲載されています。

直通線 検索

港北区役所

〒222-0032 港北区大豆戸町 26-1 ☎045-540-2323 (代表番号) ☎045-540-2227

7月は14日・28日

受付時間 月～金曜(祝日・年末年始除く)8時45分～17時、第2・4土曜の9時～12時も開庁しています(戸籍課・保険年金課・こども家庭支援課の一部業務の窓口のみ)